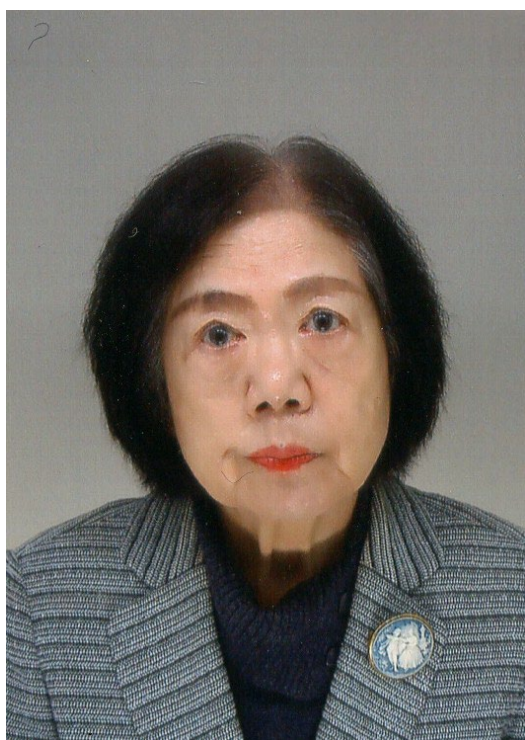


熊野三山歴史講座

『湯の峰温泉の伝承文化と湯治生活』

—特に、神仏習合時代のつぼ湯と湯胸薬師を中心として—

湯の峰温泉の湯治生活や開湯伝承、ならびに東光寺の薬師信仰について述べる。さらに能「熊野（ゆや）」の詞章と絵巻「をくり」などを取り上げ、中世の熊野信仰とつぼ湯の小栗判官伝承の関連性、つまり「温泉と地獄、蘇り」の信仰が存在したことを明らかにしてみたい。全国各地の主な湯治温泉の事例をもとに、皮膚病平癒祈願の念仏詠唱が、古い湯治場の湯屋を霊場化した点もお話したい。



講師 ^{おおもり}大森 ^{けいこ}恵子 氏

1948年兵庫県浜坂町（現・新温泉町）生まれ。明徳商業高校非常勤講師をしながら、大谷大学大学院博士課程の単位取得（旧・聴講生制度 五来重教授に師事）。五来先生主宰の日本宗教民俗学研究所嘱託研究員となり、稲荷信仰や薬師信仰の総合研究に参加。京都経済短期大学兼任講師となる。

2002年佛教大学より学位（文学博士）の授与。

2007年京都明徳高校教諭を早期退職、現在は大阪市文化財保護審議会委員・日本宗教民俗学会委員・日本山岳修験学会理事・近畿民俗学会理事など。

〈著書〉

『但馬二方の民間芸能』・『念仏芸能と御霊信仰』・『稲荷信仰と宗教民俗』・『年中行事と民俗芸能 但馬民俗誌』・『稲荷信仰の世界 神仏習合と稲荷祭』・『踊り念仏の風流化と勸進聖』。

日時 令和8年2月18日（水）午後3時30分～午後5時

場所 世界遺産熊野本宮館 多目的ホール

（田辺市本宮町本宮100番地の1）

※入場無料

皆様のご来場を心よりお待ちしております

■主催 熊野三山協議会（事務局：新宮市商工観光課）【問い合わせ】0735-23-3333